

資 料 提 供	
令和8年8月26日	
担 当 (担当者)	県 立 図 書 館 (岩崎・三田)
電 話	0 8 5 7 - 2 6 - 8 1 5 5

とっとりデジタルコレクションが 「デジタルアーカイブジャパン・アワード 2026」を受賞しました！

令和8年8月25日にオンラインで開催された「デジタルアーカイブフェス 2026」（主催：国立国会図書館 内閣府知的財産戦略推進事務局）において、鳥取県の5機関が運営するデジタルアーカイブシステム「とっとりデジタルコレクション」の「デジタルアーカイブジャパン・アワード 2026」受賞が発表されました。

1 デジタルアーカイブジャパン・アワードについて

(1) 実施主体

デジタルアーカイブ戦略懇談会及び デジタルアーカイブ推進に関する検討会（内閣府知的財産戦略推進事務局）

(2) 目的

デジタルアーカイブ戦略 2026-2030 の推進の観点から、デジタルアーカイブの拡充や利活用の促進に積極的に取り組み、優れた活動を行っているアーカイブ機関及び活用者等を顕彰し、それらの取組を広く社会に紹介することにより、デジタルアーカイブ活用の機運を盛り上げることを目的として、デジタルアーカイブジャパン・アワードを実施。

(3) 表彰の選考基準

次の5つの観点から、デジタルアーカイブ戦略 2026-2030 の推進及び目標達成への貢献を勘案し、受賞者（機関又は活用者）を選定。

①適切なルールに則ったオープン化及び利活用の推進・促進②コミュニティを支える基盤又は新たな社会ネットワーク形成への貢献③地域情報の発信④人材育成・普及啓発⑤その他の貢献（新技術の積極的な導入や新たなサービスの提供など）

(4) 2026 年受賞機関一覧

デジタルアーカイブジャパン・アワード 2026 <https://jpsearch.go.jp/daj-award-2026>

2 受賞理由

「とっとりデジタルコレクション」は、鳥取県内の5機関のデジタル化資料を横断的に検索・閲覧することができるシステムです。県内の「知の拠点」を担うつなぎ役として、それぞれの機関の特色を活かしつつ、網羅的なデータベースの構築とその発信を通じて、地域の中核的な役割を果たしている点を高く評価しました。

3 とっとりデジタルコレクションについて

鳥取県の5機関—公文書館、美術館、埋蔵文化財センター、図書館、博物館がデジタル化した所蔵資料を検索・閲覧できるデジタルアーカイブシステム。次世代へ継承すべき鳥取県の歴史的・文化的に価値のある資料を発信し、地域の「知の拠点」を担うシステムを目指しています。

「とっとりデジタルコレクション」 <https://digital-collection.pref.tottori.lg.jp/>